

河川レンジャーの募集から任命までの流れ

・以前の運営会議で報告済み

平成 21 年 6
～ 11 月

第 18～23 回河川
レンジャー講座
研修実行委員会
の開催

平成 21 年度より、
当該年度の発見講座から 3 日間の養成講座をすべて
受講したもので当該年度のプレゼンテーションを行
わなかったもの
また、当該年度でのプレゼンテーションの審査で惜
しくも合格しなかったもの
3 日間の養成講座の内、受講できなかったものに対
しては次年度実施する未受講講座を受講し

の受講者すべてが次年度実施する必須科目と 9
月より翌年の 5 月までに代表河川レンジャーが行う活動
にスタッフとして参加することによって、次年度に限っ
て、プレゼンテーションを行うことを可能とし、レンジ
ャーへの道を広げる緩和策が定められた。

21 年度の講座の反省を踏まえ、22 年度の講座研修に
ついての具体的な日程、科目、講師の選定等につい
て検討された。

21 年度の河川レンジャー希望者が少なかったことか
ら、広報のやり方を再検討及び募集人員を増やすこ
とによりある程度解消出来るのではないかとこの事か
ら、発見講座については、大阪会場で 60 名、京都
会場で 30 名の募集を行うことを決定した。

平成 22 年
1 月 18 日

第 1 回河川レン
ジャー実行委員
会


講座研修実行委員会の組織変更に伴い実行委員会と変
えて第 1 回目の実行委員会を開催した。
受講生の募集期間、講師の決定、科目名の一部変更お
よび広報リーフレットの見直しを行い配付の時期を 3
月 15 日とすることを決定した。
講座の受講生募集に向けて、河川レンジャーを理解し
て頂くための広報を実施
河川レンジャーの概要を記したポスター・リーフレッ
トを掲示
掲示場所は、淀川管内の沿川自治体・大学、近畿地方
整備局の全事務所・出張所、淀川河川公園の管理所等
に配布









・新規報告

<p>平成 22 年 2 月</p>	<p>第 9(10)回運営 会議・第 3 回代表 者会議の開催</p>	<p>第 9(10)回運営会議では、平成 22 年度の河川レンジャー推薦枠を決める展開計画が承認された。 管内別には</p> <table border="1" data-bbox="746 297 1437 566"> <thead> <tr> <th>運営会議名</th> <th>推薦枠(名)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福島・毛馬管内</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>枚方管内</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高槻・山崎管内</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伏見・桂川・ 山崎管内</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木津川管内</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9 名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第 3 回河川レンジャー代表者会議では、運営会議での展開計画に基づき推薦された新規河川レンジャー推薦人数が承認された。</p>	運営会議名	推薦枠(名)	摘 要	福島・毛馬管内	2		枚方管内	0		高槻・山崎管内	2		伏見・桂川・ 山崎管内	3		木津川管内	2		計	9 名	
運営会議名	推薦枠(名)	摘 要																					
福島・毛馬管内	2																						
枚方管内	0																						
高槻・山崎管内	2																						
伏見・桂川・ 山崎管内	3																						
木津川管内	2																						
計	9 名																						

<p>平成 22 年 2 月～6 月</p>	<p>第 2 回～第 6 回・ 実行委員会の開 催</p>	<p>養成講座を視野に入れた全体のスケジュールを提示し、養成講座終了時点までほぼ毎月 1 回実行委員会を開催することとした。 第 2 回目の実行委員会では、 科目の決定・講師の決定・科目内容の検討・プログラムの検討を行った 第 3 回目の実行委員会では、発見講座・養成講座の講師との調整を行った結果の情報交換を行った。 第 4 回目の実行委員会では、 科目内容の調整・プログラムの決定・運営方法の検討(受講者の決定方法など)等について行った。 第 5 回目の実行委員会の議題は、テキストの確認・当日運営の確認・その他等について行った。 第 6 回目の実行委員会の議題は、発見講座の反省養成講座の役割分担の決定・テキストの製本・当日運営の再確認・その他等について行った。</p>
----------------------------	---------------------------------------	--

<p>平成 22 年 4 月～5 月</p>	<p>講座の受講生を 募集する広報</p>	<p>講座の受講生を募集するためにリーフレット等を作成 講座の概要を記したポスター・リーフレットを掲示 掲示場所は、淀川管内の沿川自治体・大学、近畿地方整備局の全事務所・出張所、淀川河川公園の管理所等 淀川管内河川レンジャーのホームページにも募集案内を掲載し、応募フォームも設置 今年度は、運営委員および河川レンジャーの皆さんの努力により、市の広報誌、区民だより、府民だより等の媒体による協力があったため比較的良く周知できた。 募集対象は、淀川・宇治川・桂川・木津川流域在住の平成 22 年 4 月 1 日時点で満 18 歳以上の方を対象として公募した。</p> 
----------------------------	---------------------------	---

平成 22 年 4 月 1 日 ~ 5 月 24 日	淀川発見講座 受講申込み受付	中央流域センター内のレンジャー事務局で申し込みの受付と問い合わせ対応を実施 大阪会場では定員 60 名に対し 60 名の参加申込みがあった。 京都会場では定員 30 名に対し、30 名の受講者申込みを受付けた。
----------------------------------	-------------------	---


平成 22 年 6 月 5 日 (土) 6 月 6 日 (日)	淀川発見講座 の開催 1.大阪会場 2.京都会場	<p>会 場：中央流域センター（大阪会場 枚方市） 上流域流域センター（京都会場 京都市伏見区） 受講者：51 名（大阪会場） 26 名（京都会場） カリキュラム・講師</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>時間</th> <th>講師（敬称略）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淀川の魅力と治水 大阪会場 京都会場共</td> <td>講義各 1 時間</td> <td>宮本博司 (元国土交通省 淀川河川 事務所長)</td> </tr> <tr> <td>淀川の特性と環境 大阪会場 京都会場共</td> <td>講義各 1 時間</td> <td>綾史郎 (大阪工業大学工学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>淀川のなりたち (大阪会場) 淀川のなりたち (京都会場)</td> <td>講義各 1 時間</td> <td>八木 滋 (大阪歴史博物館 学芸員) 三木 善則 (御香宮神宮 宮司)</td> </tr> <tr> <td>淀川探訪（大阪会場） 【枚方鍵屋】 </td> <td>実習 2 時間</td> <td>大澤研一・八木 滋 (大阪歴史博物館 学芸員)</td> </tr> <tr> <td>淀川探訪（京都会場） 【寺田屋】 </td> <td>実習 2 時間</td> <td>三木 善則 (御香宮神宮 宮司)</td> </tr> <tr> <td>淀川と河川レンジャー</td> <td>講義 30 分</td> <td>松岡 徹 (淀川管内センター河川 レンジャー)</td> </tr> </tbody> </table>	科目	時間	講師（敬称略）	淀川の魅力と治水 大阪会場 京都会場共	講義各 1 時間	宮本博司 (元国土交通省 淀川河川 事務所長)	淀川の特性と環境 大阪会場 京都会場共	講義各 1 時間	綾史郎 (大阪工業大学工学部 教授)	淀川のなりたち (大阪会場) 淀川のなりたち (京都会場)	講義各 1 時間	八木 滋 (大阪歴史博物館 学芸員) 三木 善則 (御香宮神宮 宮司)	淀川探訪（大阪会場） 【枚方鍵屋】 	実習 2 時間	大澤研一・八木 滋 (大阪歴史博物館 学芸員)	淀川探訪（京都会場） 【寺田屋】 	実習 2 時間	三木 善則 (御香宮神宮 宮司)	淀川と河川レンジャー	講義 30 分	松岡 徹 (淀川管内センター河川 レンジャー)
科目	時間	講師（敬称略）																					
淀川の魅力と治水 大阪会場 京都会場共	講義各 1 時間	宮本博司 (元国土交通省 淀川河川 事務所長)																					
淀川の特性と環境 大阪会場 京都会場共	講義各 1 時間	綾史郎 (大阪工業大学工学部 教授)																					
淀川のなりたち (大阪会場) 淀川のなりたち (京都会場)	講義各 1 時間	八木 滋 (大阪歴史博物館 学芸員) 三木 善則 (御香宮神宮 宮司)																					
淀川探訪（大阪会場） 【枚方鍵屋】 	実習 2 時間	大澤研一・八木 滋 (大阪歴史博物館 学芸員)																					
淀川探訪（京都会場） 【寺田屋】 	実習 2 時間	三木 善則 (御香宮神宮 宮司)																					
淀川と河川レンジャー	講義 30 分	松岡 徹 (淀川管内センター河川 レンジャー)																					

平成 22 年 6 月 4 日 ~ 6 月 11 日	レンジャー 養成講座 受講申込み受 付	講座事務局で申し込みの受付と問い合わせ対応を実施 受講対象は淀川発見講座の受講修了者 定員 30 名に対し、26 名の申込みを受理 申込者のうち、河川レンジャー審査の希望者は 19 名
----------------------------------	------------------------------	---

平成 22 年
6 月 19 日
(土)

レンジャー
養成講座
(1 日目)の開催

会 場：中央流域センター多目的ホール（枚方市）
受講者：22 名
カリキュラム・講師


科目	時間	講師（敬称略）
河川レンジャーへの理解	講義 1 時間	辻川松子 上田 豪 中島敏明 仁枝 洋 山村武正（代表河川レンジャー）
水と生活	講義 1 時間	原 稔明 （独立行政法人 水資源機構 関西支社長）
川に学体験活動	講義 1 時間	田中 健次 （RAC トレーナー 環境文化研究所 主任研究員）
水害と水防	講義 1 時間 実習 1 時間	裕永正光 （元淀川左岸水防事務組合 収入役） 
河川レンジャー審査申請書類の配布		

平成 22 年
6 月 26 日
(土)

レンジャー
養成講座
(2 日目)の開催

会 場：実 習・木津川 開橋下
講義等・木津川出張所管内流域センター
受講者：20 名
カリキュラム・講師

科目	時間	講師（敬称略）
淀川の自然	実習 2 時間	河合 典彦 （大阪市立大桐中学校 教諭） 淀川の自然（実習） 

水辺の安全	講義 1時間 実習 3時間	佐藤 孝洋 (レスキュー3・ジャパン本部 代表) 安全対策(実習) 
-------	------------------------	---

平成 22 年
7 月 10 日
(土)

レンジャー
養成講座
(3日目)の開催

会 場：中央流域センター 2F 多目的ホール
受講者：19 名
カリキュラム・講師

科目	時間	講師(敬称略)
活動計画づくりの基礎知識と実践	講義 3時間	寺川 裕子 (NPO法人 里山クラブ理事)
河川のルールとマネー	講義 1時間 30分	井村 誠之 (元近畿地方整備局水政課長)
これからの淀川	講義 1時間	森川 一郎 (淀川河川事務所長)

平成 22 年
8 月 10 日

河川レンジャー審査
申請書類の提出

河川レンジャー審査を希望されて講座を受講された 19 名のうち 9 名が河川レンジャー審査の受審を申請

平成 22 年
9 月 5 日

第 4 回淀川管内
河川レンジャー
代表者会議開催

【河川レンジャープレゼンテーションの発表】

場 所： 中央流域センター2F 多目的ホール
時 間： 10:00～11:55

コメンテーターは、河川レンジャー代表者会議委員より行われた。
(コメンテーター17名による審査情報の収集)
河川レンジャーとしてやりたい活動の発表(5分)と質疑(5分)で行われた。

【河川レンジャーの審査】

時 間： 13:00～15:00

河川レンジャー審査を申請された講座受講修了者(河川レンジャー希望者)9名を対象に審査を実施

審査結果
河川レンジャー推薦者 4名

- ・福島・毛馬出張所管内
河川レンジャー運営会議 2名
- ・木津川出張所管内
河川レンジャー運営会議 2名